



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 岡谷電機産業株式会社
コード番号 6926 URL <https://www.okayaelec.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高屋 舗 明

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画室長 (氏名) 金丸 昌雄

TEL 03-4544-7000

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,255	131.8	462		643		517	
2022年3月期第3四半期	10,059	32.5	316		271		377	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 788百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 196百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	23.16	
2022年3月期第3四半期	16.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	16,870	8,045	47.7
2022年3月期	15,998	7,255	45.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 8,045百万円 2022年3月期 7,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	27.2	360		500		350		15.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	22,921,562 株	2022年3月期	22,921,562 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	556,976 株	2022年3月期	562,842 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	22,363,467 株	2022年3月期3Q	22,358,855 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として「株式会社日本カストディ銀行(信託E口)」が保有する当社株式が含まれています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 地域別売上高	9
(2) 減価償却費	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けながらも、経済活動正常化への動きが進みました。一方、中国でのゼロコロナ政策による経済活動の停滞やウクライナ情勢の長期化、世界的なインフレ圧力の高まりを受けた海外における金融引き締めや急激な外国為替変動等から不透明感の強い経済環境が継続しています。また、主力生産拠点のあるスリランカでは、同国の経済状況の悪化を契機とした政情不安が継続しましたが、当社工場は、従業員の安全確保を最優先にしながら操業を続けてまいりました。

このような経済環境のなか、当社は第11次中期経営計画を策定し、本年度より始まる3年間の基本方針を「コア事業であるEMC対策^(*)を軸とした持続的成長」とし、安定的収益基盤の確立に向けた事業ポートフォリオの再構築等の基本戦略を推進いたしました。受注面では、2021年度から継続して、産業機器向け及び空調機器向けを中心に堅調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間における販売面につきましては、当社主力分野である産業機器向け及び空調機器向けを中心に、前年同期に比べ増収となりました。また、利益面につきましては、原材料価格の上昇や円安による海外原材料の調達コスト増加等による利益押し下げの影響を受けながらも、前出の増収及びコスト構造改革に向けた様々な取組みによる利益押し上げ効果もあり、前年同期に比べ増益となりました。

生産・技術面につきましては、新商品開発や高品質・安定生産、受注増に機動的に対応するための生産体制の構築に取り組んでおります。また、将来の事業の柱となる新製品の研究開発活動は計画どおり推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は132億55百万円（前年同期比132%）、営業利益は4億62百万円（前年同期は3億16百万円の営業損失）、経常利益は営業外収益に為替差益1億38百万円を計上したこと等により6億43百万円（前年同期は2億71百万円の経常損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億17百万円（前年同期は3億77百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

^(*) EMC : Electro Magnetic Compatibility 電磁両立性を表し、電磁ノイズとも総称されます。

セグメント別の業績は下記のとおりです。

コンデンサ製品

産業機器向け及び空調機器向けの増加により、コンデンサ製品の売上高は62億17百万円（前年同期比149%）となりました。

ノイズ・サージ対策製品

国内における産業機器向け及び空調機器向けの増加により、ノイズ・サージ対策製品の売上高は50億52百万円（同130%）となりました。

表示・照明製品

海外における液晶ディスプレイ向け及び国内における産業機器向けの増加により、表示・照明製品の売上高は16億36百万円（同103%）となりました。

センサ製品

国内における時計指針補正用等の減少により、センサ製品の売上高は3億48百万円（同90%）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月11日に公表した2023年3月期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,330,089	2,912,975
受取手形及び売掛金	4,523,252	5,760,335
商品及び製品	713,055	1,158,937
仕掛品	496,896	606,182
原材料及び貯蔵品	1,023,577	1,240,339
その他	323,488	485,818
貸倒引当金	△1,662	△2,471
流動資産合計	11,408,695	12,162,116
固定資産		
有形固定資産	2,591,019	2,570,576
無形固定資産	206,777	207,725
投資その他の資産		
投資有価証券	1,584,723	1,718,314
繰延税金資産	104,040	106,270
その他	233,087	233,797
貸倒引当金	△129,713	△128,763
投資その他の資産合計	1,792,138	1,929,619
固定資産合計	4,589,935	4,707,922
資産合計	15,998,631	16,870,038

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,203,775	1,424,130
短期借入金	912,050	663,500
1年内返済予定の長期借入金	910,012	550,012
リース債務	111,792	88,362
未払法人税等	24,776	97,631
未払金	383,001	441,866
賞与引当金	—	72,000
その他	495,521	580,448
流動負債合計	4,040,929	3,917,952
固定負債		
長期借入金	3,434,986	3,627,477
リース債務	49,531	44,898
繰延税金負債	345,935	364,468
再評価に係る繰延税金負債	204,253	204,253
役員株式給付引当金	15,488	13,174
退職給付に係る負債	628,642	626,612
資産除去債務	7,505	7,505
その他	15,984	17,723
固定負債合計	4,702,327	4,906,112
負債合計	8,743,257	8,824,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,295,169	2,295,169
資本剰余金	1,931,556	1,931,556
利益剰余金	1,836,017	2,353,994
自己株式	△188,976	△186,575
株主資本合計	5,873,766	6,394,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	605,828	694,262
土地再評価差額金	472,765	472,765
為替換算調整勘定	324,480	500,326
退職給付に係る調整累計額	△21,467	△15,526
その他の包括利益累計額合計	1,381,606	1,651,828
純資産合計	7,255,373	8,045,973
負債純資産合計	15,998,631	16,870,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	10,059,610	13,255,812
売上原価	8,352,382	10,624,248
売上総利益	1,707,227	2,631,564
販売費及び一般管理費	2,023,881	2,168,807
営業利益又は営業損失(△)	△316,654	462,756
営業外収益		
受取利息	7,070	2,397
受取配当金	52,817	67,784
助成金収入	810	15,025
為替差益	11,287	138,224
その他	6,144	10,323
営業外収益合計	78,130	233,755
営業外費用		
支払利息	22,928	45,196
租税公課	3,800	—
その他	6,024	8,060
営業外費用合計	32,753	53,257
経常利益又は経常損失(△)	△271,277	643,254
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△271,277	643,254
法人税等	106,120	125,277
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△377,398	517,977
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△377,398	517,977

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△377,398	517,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95,769	88,434
為替換算調整勘定	83,236	175,845
退職給付に係る調整額	2,211	5,941
その他の包括利益合計	181,218	270,221
四半期包括利益	△196,179	788,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△196,179	788,198

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度末時点の仮定から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンデンサ 製品	ノイズ ・サージ対 策製品	表示・ 照明製品	センサ 製品			
売上高							
外部顧客への売上高	4,178,524	3,899,115	1,596,151	385,818	10,059,610	—	10,059,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,178,524	3,899,115	1,596,151	385,818	10,059,610	—	10,059,610
セグメント利益 又は損失△	△328,991	379,601	197,407	67,301	315,318	△631,972	△316,654

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンデンサ 製品	ノイズ ・サージ対 策製品	表示・ 照明製品	センサ 製品			
売上高							
外部顧客への売上高	6,217,579	5,052,750	1,636,819	348,662	13,255,812	—	13,255,812
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,217,579	5,052,750	1,636,819	348,662	13,255,812	—	13,255,812
セグメント利益	596,996	545,648	15,418	36,439	1,194,501	△731,745	462,756

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 地域別売上高

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

日本	香港	タイ	中国	その他アジア	北米	その他	計
5,247,722	1,284,446	1,153,922	874,286	795,738	665,875	37,618	10,059,610
52.1%	12.8%	11.5%	8.7%	7.9%	6.6%	0.4%	100.0%

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」の区分は、主に欧州であります。

3. 比率は構成比であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

日本	香港	タイ	中国	その他アジア	北米	その他	計
6,471,647	1,687,939	1,727,702	1,332,583	1,115,665	877,551	42,722	13,255,812
48.8%	12.7%	13.0%	10.1%	8.4%	6.6%	0.4%	100.0%

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」の区分は、主に欧州であります。

3. 比率は構成比であります。

(2) 減価償却費

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
減価償却費	200,571千円	207,654千円